

第 11 回 議会報告会概要一覧

担当班	開催月日	開催時間	場 所	出席者数
1	11 月 15 日 (火)	18:30～20:00	佐原地区センター	6 名
	11 月 16 日 (水)	18:30～20:00	麩目高齢者コミュニティセンター	1 4 名
	11 月 17 日 (木)	18:30～20:00	赤前コミュニティ消防センター	4 名
2	11 月 15 日 (火)	18:30～20:05	宮古市役所	2 1 名
	11 月 16 日 (水)	18:30～20:00	津軽石公民館	1 1 名
	11 月 17 日 (木)	18:30～20:00	消防第 29 分団屯所（田老太平）	4 名
3	11 月 15 日 (火)	18:30～20:00	三王地区自治会研修センター	1 2 名
	11 月 16 日 (水)	18:30～20:00	近内地区センター	6 名
	11 月 17 日 (木)	18:30～19:50	高浜コミュニティ消防センター	1 9 名
4	11 月 15 日 (火)	18:30～20:45	川井生涯学習センター	9 名
	11 月 16 日 (水)	18:30～20:40	鯉ヶ崎公民館	1 3 名
	11 月 17 日 (木)	18:30～20:10	崎山公民館	2 3 名
5	11 月 15 日 (火)	18:30～20:15	長沢農村センター	2 8 名
	11 月 16 日 (水)	18:30～20:00	小国地域振興センター	6 名
	11 月 17 日 (木)	18:30～20:15	フラットピアみやこ	6 名
計			1 5 カ所	1 8 2 名

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時：平成 28 年 11 月 15 日（火） 18 時 30 分～20 時 00 分 会場：佐原地区センター	6 名	〔 1 班〕 加 藤 俊 郎 茂 市 敏 之 鳥 居 晋 中 島 清 吾
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
河南・高浜線の道路について、朝の渋滞がひどいが、トンネルの考えはなかったのか。	トンネルの話は出ていない。	
台風被害の反省点は何か。	現在、各常任委員会で調査中だ。	
公用車の被害があったようだが、震災の教訓が生かされなかったのではないか。	多くの公用車が流されたが、急な増水で対応できなかったことについて市も反省している。	
大雪対策について、重機のチャーターは速やかに対応できるのか。また、家の前に雪の塊を置いて行かれて困っている。	市に伝える。	
魚菜市場の現状はどうか。	市営ではないので何も言える立場ではないが、市の誘客の目玉でもあり市場として今後対策を考えるとと思う。	
生活保護について、受給者の中には遊んで生活をしている方がいるようだ。まともに生活をしている方とは不公平感がある。	（意見）	
私道について、側溝が無く困っている。利用者も多いが、側溝をつけてもらうことはできないか。	個人の土地に側溝は無理である。	
政務活動費について、宮古市議会では問題はないか。	支給額は年間 15 万円。問題はない。	
消防第 7 分団側の道路は、通学路なので通学時間帯までに除雪をしてほしい。	（要望）	

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時：平成 28 年 11 月 16 日（水） 18 時 30 分～20 時 00 分 会場：墓目高齢者コミュニティ センター	14 名	〔1 班〕 加 藤 俊 郎 茂 市 敏 之 藤 原 光 昭 鳥 居 晋 中 島 清 吾
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
震災と今回の台風とでは支援内容が違うのか。	国からの予算が決まっていないので、まだ十分な支援はできていないが、市は震災時と同等にしようと考えている。	
墓目地区では被害にあった家屋が多いが、モータールも入っているのか。	入っている。	
閉伊川の堤防が途中で切れているが、早く繋げてほしい。	要望はしている。	
墓目の道路の側溝は立派にできたが排水口が狭い。何とかできないか。	市に伝える。	
茂市地域の刈屋川河川堤防用地買収の話があるが、住居の移転もあるのか。また、堤防のかさ上げ予定はどうか。	右岸は着工するが、左岸はまだ。かさ上げについては要望を伝える。	
旧茂市小学校にゴミの山があるが、いつ頃の撤去となるのか。	閉伊川沿いは県が、それ以外は市が撤去することになっている。市に問い合わせる。	
防災倉庫の備品の説明、使用方法、倉庫の中身についての説明会はあるか。	これから始まる予定。倉庫の中身は各地域で管理するもの。食料品はイベント等で利用し、補充した方がよいと思われる。	
若い人たちが地元にとどまる施策を考えてほしい。	議会でもいろいろ議論している。	
空き家はどのくらいあるか。	調査しているところだ。	
中心市街地拠点施設整備事業の祈願祭に議員の参加が少なかったが理由は何か。	色々な考えを持った議員がいるので、各議員の欠席理由はわからない。	
災害時に空き教員住宅を利用したらどうか。	（意見）	
牛伏から根城へ抜ける道路を災害時の代替道路として整備してほしい。	（要望）	

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時：平成 28 年 11 月 17 日（木） 18 時 30 分～20 時 00 分 会場：赤前コミュニティ消防 センター	4 名	〔1 班〕 加 藤 俊 郎 茂 市 敏 之 藤 原 光 昭 鳥 居 晋 中 島 清 吾
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
赤前小学校にソーラーを付けてほしい。	(要望)	
新庁舎にはヘリポートはあるのか。	無い。	
新庁舎には何台駐車できるのか。	124 台。	
アイオン台風では 800 mm の雨が降ったが、堤防のシミュレーションは何 mm で行ったのか。	当時は堤防が無かった。現在は、同様の雨で超えることはないと思われる。	
山の木を切って保水力が無くなったところに雨が降っての災害のように思えるが、無計画に木を切っているのではないか。	無計画には木は切っていないようだ。	
学校の体育館の利用を簡単にできるようにしてほしい。	(要望)	
藤畑から赤前に出る道路の拡幅はどうなっているか。	市に伝える。	
消防とコミュニティセンターを別にしてほしい。	他地域でも同じように利用している。漁村センターが壊れ、代替えとしての建設であれば可能だったかもしれないが、新築となると地域の負担が出てくる。また、再配置計画にのらないと難しい。我々も市に要望はしていくが、地域からも要望していくしかないと思う。	
赤前小学校仮設グラウンドから伸びている側溝が壊れているので、直してほしい。	市に伝える。	
赤前復興団地からの道路に、歩道、カーブミラー、外灯、滑り止めの砂を早く設置してほしい。	外灯は業者に発注になっており、今年度中につく予定。外灯以外の件は市に伝える。	
閉伊川河川の浚渫を望む。	(要望)	

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時：平成 28 年 11 月 15 日（火） 18 時 30 分～20 時 05 分 会場：市役所 6 階大ホール	21 名	〔2 班〕 坂 下 正 明 須賀原 チエ子 白 石 雅 一 今 村 正 佐々木 勝
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
今回の台風10号に対して、各地区で水害が多く出たが、ポンプでの排水計画はどうなっているか。	来年度以降の事業で、新川町と藤原に、規模の大きいポンプ施設を新規にそれぞれ建設予定である。	
田鎖の長沢川でも氾濫があった。そちらにも同様の施設や対策が必要なのではないか。	県が長沢川の整備を計画中であり、進捗状況を見守ってほしい。	
閉伊川水門の建設工事が台風被害に与えた影響を検討したか。	今回の台風被害に影響を与えたかどうかの検証結果はまだ出ていない。	
宮古市の危機管理体制はどうなっているか。	河川の水門閉鎖について現在検証中。そのほかの原因究明についても調査中である。また、地震津波と違い、沿岸直撃台風のマニュアルができていなかった。	
閉伊川水門工事はまだ続くので排水対策の必要性を感じる。	（意見）	
車での危険指示をした方が良いと感じる。	（意見）	
水門工事説明会の際、県に対して「津波に対しては効果があると思うが、台風に対しては大丈夫なのか」という質問が市民からあった。県からは「大丈夫」という答えだったが、今回の台風で大きな被害が出てしまった。現在の状況を見て市議会はどう思うか。	県は、議会に対して工事説明を行い事業を進めてきたが、議会の中でも賛否様々な意見が出た。工事中の現在は、県議会を含めて調査検討してもらうこととしている。	
水門上部の道路が通れなくなると聞いたがどうか。	県工事ではなく、宮古市負担分が出てきた。車は通れるようにはなる。	
閉伊川の堤防がずっと続いているが岩手缶詰のあたりで切れている。そこに歩道を付けてほしい。	（要望）	
宮町地区を含め、今後の水害対策はどうか。	排水ポンプ機能を含めた全体の被害調査を行っている。水門については命令系統の検証中である。	

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
河川に木が多く生えている。河川整備をしなくてはいけないのではないかな。	県が河川整備計画を作っている。排水ポンプが整備されたが、配電盤が浸水した場所もあり、安心して使える河川整備を要望していく。
鳥獣による被害が年々ひどくなっており、田畑の収穫量も減少している。対応はどうか。	鳥獣被害対策については各地区から要望が出ており、市は電気柵の補助を行っている。猟友会にも補助金を出し、駆除に力を入れてもらっているが、猟友会も高齢化や会員の減少で厳しい状況である。冬季は山に入って駆除できるが、夏季は難しく、罠による駆除を行っている。
電気柵でも侵入を完全には防げない。侵入を防ぐのでは無く駆除してほしい。	(要望)
鳥獣の個体数を調査しているか。	県において個体数を調査している。
一般会計予算の踏切改良事業1,500万円とあるがどこのことか。	藤原地区の避難道の整備事業費である。
新庁舎の駐車場は料金を取るという話だが、無料でもいいのではないかな。	市役所に用事がある方は無料となるよう検討中。完全無料にすると、市役所に用がない人でも駐車場を利用する可能性がある。
駐車場代はなるべく安くしてほしい。	(要望)
南町の接骨院近くの土手の木が伸びて車にぶつかるようになった。切ってほしい。	(要望)
台風10号で石灰をまいたが、見た目が悪いので土をもらって、かけたい。	(要望)
山口川の館合踏切法面に亀裂が入っている。直して整備してほしい。	(要望)
閉伊川の鉄橋に流木が引っかかっているので取ってほしい。	(要望)
少子化と若者の流出が深刻に感じる。宮古市が掲げる教育立市と産業立市では産業立市が重要と思う。どのような評価をするのか。	震災後、生活面だけではなく産業面でも有利になるように道路整備を進めている。整備されれば企業誘致の際、アピールポイントになると思うが、工業地帯の整備も進めなければならないことから、このような話があったことを市に伝える。

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
市内の空地を利用できないものか。	道路網が整備されてきているので、空地利用を要望していく。
若者は市内に就職しても結局は他市に移ってしまう。子育てをする中で、賃金が安いからではないかと思う。宮古市の賃金レベルはどのくらいか。	内陸の方が賃金レベルが高く、生活しやすいものと思う。子育てしやすいように、保育料や医療費の減免を引き続き行い、新たな政策について議会の特別委員会でも検討していく。
高浜の胡瓜沢避難道の進捗状況はどうか。	避難道整備は着実に進んでいる。
台風10号による罹災証明書発行の際、市役所の対応が悪かった。手際が悪く長い行列ができていた。	(意見)
町内はお年寄りが多いので泥揚げしてもらい有難かったが、土嚢袋をもらう際の職員の対応が悪かった。	(意見)
水門の管理は消防団で、開閉の判断は現場の人が下すべきと思う。	(意見)
新庁舎ができた場合、現庁舎の跡地はどうか。	現庁舎は解体予定。議会では特別委員会で現庁舎跡地の利用について提案書を策定中である。
旧庁舎を耐震補強して使ってもいいのではないかと思う。	(意見)
市役所の解体費用はいくらか。	本庁舎と分庁舎を合わせて、概ね3億円を見込んでいる。

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時：平成 28 年 11 月 16 日（水） 18 時 30 分～20 時 00 分 会場：津軽石公民館	11 名	〔2 班〕 坂 下 正 明 須賀原 チエ子 白 石 雅 一 今 村 正 佐々木 勝
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
台風10号の被害で館山公園高台の木が折れている。学校のお花見ハイキングでも使っているなので整備してほしい。	避難場所になっているので市の危機管理課が管理している。台風被害についてどこまで調査が進んでいるか担当課に確認する。	
石碑を作してほしい。慰霊碑を作らないのか。	市役所の跡地利用について特別委員会で検討中。跡地に建てる案も出ている。	
津軽石赤前地区に慰霊碑を建ててほしい。	（要望）	
東日本大震災で津軽石地区は地盤沈下している。各地で水が出ているので整備をしてほしい。	（要望）	
津軽石には小さい河川が多いので整備を進めてほしい。	（要望）	
線路に向かって水の流れが悪い。整備してほしい。	線路下の水の流れについては「列車が走る前に」ということで整備計画が進んでいる。	
大森川に土砂が溜まっている。整備してほしい。	（要望）	
今回の台風で津軽石の各地で浸水があった。山側で三陸自動車道を作っているの、その影響もあると思う。道路が完成すると、排水がもっと悪くなるのではないかと思うので、排水計画をしっかりと考えてほしい。	（要望）	
津軽石の用水路の設計は、今の津軽石の実情に合っていないと感じる。新しい用水路計画を考えてほしい。	（要望）	
宮古市の河川整備はどうなっているか。	市内に600箇所以上の大小の河川があり、査定を行い整備を進めている。	
民有林伐採の届けはどうなっているのか。	本人が伐採届出をすることになっている。	

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
議会広報の一般質問にあった「歴史文化財を活用したまちづくり」について教えてほしい。	この質問は、当初、津軽石地区文化遺産活用計画の中にあった盛合家住宅の保存活用計画に焦点を当てたものである。
台風10号の被災の査定は終わっているか。	まだ査定は終わっていない。
台風10号の被災による補助はどうなっているのか。	補助はそれぞれの内容で変わってくるが、市民向けの他、事業主向けも考えている。補助事業はできる部分から予算をつけている。
市は津軽石小学校の土地を盛合家から借りている。地元で文化財を管理していく気持ちはあるが、維持や保存、塀や壁の修理でお金が多くかかる。市が管理するべきではないか。	(意見)
津軽石駅の前の橋が狭く交互交通になってしまう。小学生の通学路にもなっているので橋と道路を広くしてほしい。	(要望)
台風10号で忙しいのはわかるが手抜きがあるのではないか。縦割り行政はもうやめるべき。工事が進んでいるがどういう工事か地元で説明がない。	(意見)
議会報告会で出た意見は、市にちゃんと通るのか。	皆さんからの意見は担当課に伝えている。ただ、そこから先のフォローが足りなかったものでしっかり伝えていきたい。
津軽石の被害状況を市では把握しているのか。	現在、台風被害については調査中。細かい場所も多いが、調査を進め優先順位をつけて計画を立てている。
今回の台風10号の県の対応はどうか。	河川整備は確実に行うと思うが、どこまで河川敷の改修工事を行うかはわからない。
今回の台風で水没した公用車は何台か。	73台。
被災者の医療費負担は今後どうなるのか。	12月議会で議案に上がると思う。
災害公営住宅のソフト面のケアをお願いしたい。親睦会などを開いても良いのではないか。	社会福祉協議会で行っているようだが、なかなか入りづらい部分があるように感じる。

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時：平成 28 年 11 月 17 日（木） 18 時 30 分～20 時 00 分 会場：消防第 2 9 分団屯所 （田老大平）	4 名	〔2 班〕 坂 下 正 明 須賀原 チエ子 白 石 雅 一 今 村 正 佐々木 勝
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
小田代の道路が開通したが、着手したのが遅いように感じた。工期を守れるよう着手を早くしてほしい。	工事に入れない事情は各事業所にあると思う。事業によっては、次年度に繰り越しているものもある。地元の人に不便をかける部分もあるので、しっかり着手できるよう要望していく。	
台風被害で道路が崩れている部分がある。地元でカラーコーンや点滅灯を設置している場所もある。市は市道の管理をしっかり行っているのか。	台風被害については現在査定中。道路等は 12 月中に査定する場所もあると聞いている。パトロールで足りない部分は、郵便局などと協定を結んで調査しているが、場所を教えてもらえれば、市に調査するよう伝える。	
河川パトロールは実施しているのか。台風による流木等が海に多く流れている。未だに車が通れない場所もあるのでしっかり調査してほしい。	（意見）	
引越した家に猫や犬が残されている。保健所以外に引き取ってくれるところがほしい。	（要望）	
崩れている道路の早期の整備をお願いしたい。まだ復旧していない部分が多くこれから雪が降ると、気をつけて通っていても危ない。	（要望）	
家にペットを置いて引越していく人がいる。どうすればいいのか。	保健所では里親を探すこともしている。	
防災無線のスピーカーに昔はマイクを挿すところがあった。地域のイベントや防犯のためにマイクを復活させてほしい。	今の防災無線のスピーカーには、下にボックスがある。それを使えばその地区で放送できる。	
空き家が増えてきたので対策を検討してほしい。	議会でも特別委員会で空き家対策を検討中である。	

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時：平成 28 年 11 月 15 日（火） 18 時 30 分～20 時 00 分 会場：三王地区自治会研修センター	12 名	〔3 班〕 田 中 尚 坂 本 悦 夫 橋 本 久 夫 古 舘 章 秀
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
宮古市議会では政務活動費は前金か、それともその都度交付されるのか。	年額 15 万円を一括前金で交付される。	
政務活動費は、今はあまりいらないのではないか。パソコンで全国調べることができる。それでできなかった場合は政務活動費を使って行ってくればいい。	大事なご指摘と思う。ネットで必要な情報は取れ、政務活動費を使わなくても資料が入手できる環境はそのとおりである。ただ、それで足りるかどうかという一面もある。	
その予算を削って住民のために使ってもらいたい。	（要望）	
議員の活動がわからない。北海道の千歳市では、住民が「議員は要らない」と騒いでいる。28 人から 22 人に削減し議員報酬を上げると言っているが、これから人口が減少していき、財源も減るわけである。報酬引き上げについては、よく考えるべき。	（意見）	
この高台にサポートセンターがほしい。老人だけ増えてくるので、サポートセンターがあれば多少でもケアになる。このことは、他の参加者が 5 月の議会報告会に話したが未だ返事がない。 （5 月の報告会での意見） ・ 田老地区には老人等が集える憩いの場所が無い。グリーンピア三陸みやこに今ある施設も無くなればどうなるのか心配だ。	サポートセンターは全くその通りで、重要な問題だと捕らえている。 議会報告会での質疑、意見、要望は市に報告している。5 月の意見について、市から明確な報告が来ていないのでご報告できないことをお詫びする。サポートセンターについては時間をいただき、皆様にお伝えできるようにする。	
5 月のグリーンピアでの報告会に参加した時に、三王高台に防犯灯、ゴミ集積所の要望が出た。その時の報告が後の羅針盤に「その要望は自治会で要望してください」と載ったが、あまりにも不親切だと思う。三王団地は未だ入居してないことなどから	（意見）	

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
自治会がない。ここの状況を把握していない。	
政務活動費について、宮古市は前払いだが、日本で一箇所、京丹後市と思うが完全後払い制をやっている。そのようにすれば良いと思う。コピーではなく本物の領収書で年度末に支給する。そのようなやり方で透明性が図られる。	政務活動費だが、使い道が適正かどうかは議会事務局がチェックしている。議員が会計報告書を提出しても認められないこともある。すべての支出は領収書原本提出で市民に説明がつくようにしている。後払い制も一つの方法として承る。
市長の交際費も広報に掲載されたが、土産代は行政・団体と思う。団体等について、金額はふせても公表すべき。	(意見)
視察報告は、詳細に写真や感想も載せてもらいたい。	視察については、議員個々が勉強をしたこと、感じたことなどについて報告書を提出している。
防災無線が聞こえないため、不安な生活をしている。田老一丁目4-10が本当に聞こえない。何を言っているのか分らない。三丁目4-1公営住宅の5号棟だが、個別受信機があれば有料でもほしい。	具体的に聞こえない箇所も伺ったので危機管理課に伝え、後で実際にどのような音で聞き取れるか調査をして改善することにした。個別受信機についても伝える。
三王四丁目は三王地区自治会研修センターの下で8戸ぐらいしか建っていない。そこは広大なのでゴミ箱の設置について補助がない。収集場所を市で考えてほしい。ゴミ箱作成に80万円ぐらいかかる。昔の中町に田の沢に入らないところがあり、4~5件しか無く困っている。	ゴミ箱、集積場所について、行政が対応できるかどうか、この実態を市に伝える。少し時間をいただきたい。
消防署に防火水槽がどこにあるか図面に書いて配布するように言ったが何の対応も無い。初期消火のため山に小屋を作ってジェットシューターを置けと言われた。消火栓が無いのに消火栓を使えと言われた。	(意見)
震災後、浄土ヶ浜、藤の川海水浴場を整備している。田老には真崎海岸があるが、5年たってもまだオープンしていない。水	工事現場についての提案があった。トラックの運行の時間帯をずらすなどして改善していただきたいと考える。トラックの件につ

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
のきれいさのランクは高かったので早く整備してもらいたい。国立公園内の沼の浜キャンプ場に土砂の仮置きをして良いのか。三王団地を通して土砂を運んでいて、住民に説明も無く置かれている。宮古の人には、田老に何かを作れば「田老ばかり」と言われる。言葉を借りれば、物を持ってきて投げるのは「田老ばかり」と思う。青の滝にダンプが来て飛び石で車をやられている。とくに朝は、工事現場でダンプの間隔をもつなど対応してもらいたい。規制できないのか。	いては検討してもらうことで要望を伝える。 青の滝の件については被害の報告があった。小林漁協組合長から工事が遅れると困るとの話もあった。予定外の降雨で青の滝の海が汚れた時があり、そのときは漁業被害があったと報告があった。小林組合長の話から結果として我慢すると受け止めた。総務常任委員会で調査することにした。
田老鉦山跡地の所有者である明星大学では、管理に苦慮にしていると聞く。産業廃棄物処理業者などに売られて、とんでもないゴミを持ってこられては困る。中国などに売られて中国の金儲けにされると怖い。ジオパークとして活用することもできる。	「明星大学がもてあましているので何とかしてほしい」という要望として受け止める。田老鉦山跡地は産業遺産でもある。ジオパークについては調べて後で報告する。

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時：平成 28 年 11 月 16 日（水） 18 時 30 分～20 時 00 分 会場：近内地区センター	6 名	〔3 班〕 田 中 尚 坂 本 悦 夫 橋 本 久 夫 古 舘 章 秀
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
津波防災の講演で市長の挨拶を聞いたが、台風 10 号の危機管理について大いなる不満を持った。市民になんら謝罪がなかった。避難勧告の呼びかけについては、当初「避難場所はホームページを見てください」だった。その後、詳しい避難所の説明が長々あった。土嚢袋をもらいに行ったら東側駐車場に水没した公用車がたくさんあった。1 週間前にも築地は冠水していて、台風 10 号では、それなりの被害が予想されたはず。職員が何百人もいて大切な公用車を避難させなかった。このような状況に至ったことを市議会として検証していくべき。	市庁舎を災害対策本部にし、職員に召集をかけ、公用車もそのために移せなかった。対策本部は安全な場所に設置すべきとの議論をした。指摘の市長が謝罪すべきだという点については、本来市議会が市民の声を踏まえて、市を正していくことが求められる。この件では各常任委員会が課題を検証しており、市にも改善を求めている。	
台風 10 号で市の危機管理がどうなっているか考えさせられた。振り返ってみると宮古は午後 4 時 20 分から風雨が強くなり、6 時 30 分にびたりと止まった。3 時に三陸国道のホームページを見ると「南インター冠水で通行止め、迂回路なし」と載っている。その後「藤原冠水で通行止め、迂回路なし」。その後「磯鶏から築地二丁目まで冠水のため通行止め、迂回路なし」となっている。3 時ちょっと過ぎに県北バスを見ると「冠水のため市内全路線バス運行停止」。市の防災無線ではそのようなことを何も放送しなかった。31 日の朝はすごく混乱した。三陸国道のホームページでは「市の要請で排水車 1 台が市役所付近で排水工事開始」、	「防災無線が何で一言も発ししなかったのか、津波の時は機械がやられてできなかったが、今回は使えるのになぜか」と聞いたところ、「中々聞こえなかったりして放送しなかった」とのこと。市民に今伝えるべきことが欠落していた。市民生活が渋滞・混乱におちいったことも大いなる反省点である。	

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
夜中１時頃「さらに１台の要請で２台が現在排水中」と、どんどんホームページを更新している。ところが市は防災無線があるのになにも放送しない。ハーバーラジオが宮古市にはあるが、それも何も放送していない。放送があればバス待ちや車輛が混乱しないですんだ。このような事態を議会ではどのように思うか。	
三陸国道のホームページでは「31日の15時に道路が回復開通」と情報が出た。市のホームページでは「通行止め」となっている。夜の９時になっても「国道45号線は通行止め」となっている。三陸国道をはじめホームページでは日時を入れるが、市は時間を入れていない。FMラジオでも放送しない状況であった。市のホームページは更新すると過去の記録が消えて最終的な報告書で「何を何時にやった」ときれいごとになっている。他の団体のホームページには経過が残っている。市の対策状況は良いところを連ねれば立派にやったように見え、それだけ残っている。経過を見たくても無い。	台風被害について、議会では各常任委員会で検証中。議会報告会で出た話を含めてしっかり今後の取組みに活かし、二度とこのようなことが生じないように対策を求めている。
台風10号の市役所対応経過の情報公開を求める。さっぱり分らないので、どういうシステムでどこに電話すればいいのかを議会でも提案してほしい。	(要望)
定住化対策について気にしている。宮古の基幹産業は何かと聞くと、多分「漁業であり観光である」という話になると思うが、農林業も基幹産業であると思う。この点が不十分であると思う。林業では旧川井村と合併して森林率90%を超えていると思う。林業としてうんぬんということが宮古市と	宮古市では、やっと森林組合を中心に協議会をつくるという状況になった。

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
して無いのではないかと。農業の問題だが遊休地がかなりあるはず。そういうようなものを活用しないと宮古市の食料自給率を上げようと思っても対策がない。宮古には農林業の第6次産業化がない。このようなことを見直さなければ定住化は進まないと思う。このような点について議会ではどのように感じているか。	
民有林を皆伐した場合の補助率はどうか。	たぶん針葉樹の場合は、再造林で10分の4。それに市単独の予算を加え、全体では10分の7くらいになるはず。この点は後で調べてお知らせする。
宮古西中近くの市営住宅付近の市道が度々陥没する。水脈があるのか応急的に補修してはいるが抜本的に直すよう対応してほしい。	(要望)

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時：平成 28 年 11 月 17 日（木） 18 時 30 分～19 時 50 分 会場：高浜コミュニティ消防センター	19 名	〔3 班〕 田 中 尚 坂 本 悦 夫 橋 本 久 夫 古 舘 章 秀
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
キュウリ沢の道路は、当初「来年 3 月にできる」とのことだったが、今の状況ではできそうにない。市としてどのように考えているか。	一部の地権者の合意が得られず遅れているとのこと。詳しい内容は後ほど回答する。	
中心市街地拠点施設の市役所の全体図が載っている。今度建築される 1 階フロアの基礎コンクリートは現在の地面と比べるとどのくらいか。	現在予定されている場所は、ハザードマップによればアイオン台風の規模で 2 m 前後の洪水が予想される地域。建てる場所は、1.5 m 盛土する。	
金浜から八木沢経由で道路ができているが、所々狭い部分もある。できれば八木沢経由でバスをお願いしたい。	用地交渉がうまくいかないことが原因と聞く。後で担当課から聞いて報告する。	
閉伊川水門は津波対策ができていても洪水対策はできていない。津波のあれだけのエネルギーを逃すやり方が正しいと思う。	（意見）	
高浜地区センターが間もなくできる。高浜地区には公園が無い。盆踊りなどのできる多目的公園を確保してほしい。	（要望）	
金浜に土置き場となっているところがあるが、市ではどのような考えか。	今のところ情報が入っていない。	
金浜高台の公園は道路をはさみ右左に作っているため子供達の行き来が危険だ。どちらもゲートボールができる広さが無い。	どのような考えでそうなったのか聞いて回答したい。	
地区センターの建物は津波前の 3 分の 2 くらいしかない。敷地として買った面積は結構あった。前の面積を確保してほしい。	（意見）	
新聞に「宮古市では雨が 50 mm、80 mm 降ったときポンプをつける」と載っていたが、	1 時間当り 50 mm だと問題が無いと聞くが、80 mm 以上降るような猛烈な雨だと浸水、洪	

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
相当大きなポンプをつけなければならないと思う。海面が高ければ、かき出せず、そう簡単ではない。先日、高浜の水門のところに市役所の課長が来て、「ここは水が溢れ冠水する」と言ったら、「ポンプをつけるからいいです」と言った。「ポンプをつける」だけでは不安だ。もっと研究し、計算して説明してほしい。	水の被害が出てくる。市では新川町、藤原地区には 1 分間に 190 t かき出すポンプを予定している。
高浜四丁目から 45 号線に上がる道路ができる予定だ。台風 10 号の雨と風で舗装が割れた。足が不自由な家族がいるので「散歩の時危険なので、何とか直してほしい」と市役所に電話したら、「個人で直して」と断られた。台風では、普段は水が無いところの山から水が氾濫した。山を背負っているのでいつどういことが起きるか心配。家の前の道路は国土調査の際、私道路にした。	担当課長と一緒に現場を確認し、どういう対応が可能なのか現地確認をしたいと思う。その時、市の見解も伝える。現地確認をさせていただくが、私道ではむずかしいと思う。
国道 45 号線の下に道路がある。市が下水を高くした。「横切っている下の道路を何で高くしないのか」と質問したら、「それは県の道路だから市ではやりません」とのこと。つなぐと排水が海に流れる。県と協議して現場の意見を反映した工事をしてほしい。	現地確認をしたい。
台風 10 号で道路が土砂崩れとなり、車 3 台が流される大水が出た。市からは「ここは青線だからやれない」と言われた。市の道路と山の道路との境だった。そこには民家に行く道路もある。畑もあるが行けない状態。市の対応に不満を持っている。住宅が何戸もあるので市で直してほしい。場所は、2 地割で金浜を上がっていくとアパートのシーサイドパネルがあるところ。	青線・赤線は、昔は国の管理だったが今は市町村になった。現地確認をしたい。私道路の舗装は、3 世帯以上あれば 2 分の 1 補助制度（上限 100 万円）があるが検討課題でもある。まずは現地を確認させていただく。
市役所を建てることによって財政破綻が起きないか心配だ。企業誘致や産業振興な	市役所整備計画については、国が交付税で補てんする合併特例債制度を使うので、市は

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
どの取り組みが弱いと思う。財源等青写真をしっかり作って説明してほしい。	財政破綻が起きることが無いと言い切っている。具体的な計算の根拠も示している。市のホームページにアクセスすると分ると思う。

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時：平成 28 年 11 月 15 日（火） 18 時 30 分～20 時 45 分 会場：川井生涯学習センター	9 名	〔4 班〕 松 本 尚 美 工 藤 小百合 竹 花 邦 彦 佐々木 清 明 小 島 直 也
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
今回の台風災害において、役所の機能が働いたか疑問だ。避難指示も聞こえなかった。近所の人に促されて避難したが、避難場所（川井小）が閉伊川のそばではたして安全な場所なのか。川や橋の状況の点検、見守りする行政、消防もない。行政側はもっと危機感を持つべきだ。公用車 73 台が台風被害で使えなくなったということは危機管理が甘かったのではないか。 （参加者からの意見） 地区が分断されて消防分団も動きがとれなかったが、分団も一生懸命災害対応にあたった。	道路が寸断されている中、総合事務所職員も災害対応に一生懸命頑張ったと思う。現在、川井地区に雨量計が設置されている。8 月 30 日の雨量が 350 mm 観測されているが、これが数時間後に下流域でどうなるのか分析し、対応すべきだがそうっていない。もっと危機感を持つことも確かであり、今後、検証していく必要がある。	
災害で道路が寸断されれば市職員も来られない。今回の台風災害で、民間のトラクターを活用して旧道の土砂撤去を行ったが、地域で智慧を働かせ、行政に頼るばかりでなく、地域住民でできることはやるという自助、共助を高めていく必要がある。	（意見）	
避難所のトイレを洋式に変えていくべき。要望したい。	市内の小中学校トイレの洋式化は計画的に進められているが、避難所は高齢者等にも配慮しトイレ洋式化を図る必要がある。議会としても引続き努力する。	
国道 106 号は沢水が濁流となって道路が寸断された。国道下の横断管渠に土石が溜まっていることが考えられる。県に伝えてほしい。	県に伝える。	

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
台風 10 号災害について、行政サイドの事務的検証だけでなく、避難者がどういう行動をとったかも検証する必要があるのではないか。昭和 56 年の大雨災害では川井小体育館まで水がきたので生涯学習センターに避難したが、現在の避難場所はまた体育館になっている。避難所の検証もすべきと思う。	避難所のあり方についても議会の検証作業の中で行っていく。
避難所や防災倉庫の鍵を行政以外には誰が保管しているのか住民はわからない。総合事務所退庁時間過ぎに災害が起こったら一般の地域住民は開けることができない。行政と地域住民が連携を密にしておかないと災害時には機能しない。	鍵の保管、開閉管理等について市に確認する。 【班の対応】 総合事務所と危機管理課が連携、確認を行い、避難所・資材倉庫等の鍵の保管者・開閉等に関する地域住民周知を図るよう、総合事務所長に要請した。
河川公園に災害時の汚泥等が積まれたままになっている。総合事務所に早く撤去するように伝えてあるが返事がない。対応が遅い。河川公園は消防水利（自然水利）の場所になっている。早く復旧しないと通れない。	総合事務所に確認する。 【班の対応】 11 月 16 日現地確認（別添写真のとおり） 川井総合事務所に問い合わせしたところ河川公園はスポーツ施設として教育委員会生涯学習課が担当しているとのこと。生涯学習課と総合事務所が協議し具体的対応について、意見のあった住民に直接連絡するよう総合事務所長に要請した。
小国地区で「里の駅」構想をすすめている。地域おこし協力隊を活用したい。教員住宅を利用して隊員の受け入れをしたいと考えている。市の協力隊活用に向けた動きはどうか。	来年度から新里、川井地区に地域おこし協力隊を配置する方向で、募集を行う計画である。協力隊の宿泊場所確保も課題の一つとなるが、公共施設の再配置計画を見ながら検討する必要がある。また、協力隊員が十分に能力発揮できる仕組みの誘導も必要だ。
小国の里構想で小国小学校の活用を模索している。議会も積極的に後押ししてほしい。	収支が成り立たなければ継続はできない。地域づくりに第三セクター的発想は捨ててもらうことも必要だと思う。

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
廃校の利活用について、閉校した江繋小学校をイベントで活用しようとしたら、学校は使っても良いが水道とトイレの利用はだめと言われた。水道とトイレも許可してほしい。	(要望)
シカ、サルの被害が深刻になってきた。岩泉町はシカの駆除として1頭につき2万円出している。遠野も対策が進んでいる。宮古市も真剣に対策を講じてほしい。	(要望)
農業政策について、中山間地の農業の現状は、高齢化で農地を耕せない人が増え、水利や農地（田）の管理が課題となっている。高齢化等による機械化も進んでいる。一方で、機械化のメリットを活かすためには農地の拡張を図る必要があるが、国には良い施策がない。台風被害農地の災害復旧と組み合わせて、市がリーダーシップをとり柔軟な発想で農地の管理を改善し、農地拡張を図れるような独自施策ができないか。（片巢地区）	(意見)
早池峰の馬留～小田越間は市の観光パンフレットで登山道になっているが、森林管理署の土地で市は借りていない。森林管理署は申請があれば無償で貸すが、市に話しても動きがない。利用許可を取って、木の博物館利用につなげるべきだ。	(意見)

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時：平成 28 年 11 月 16 日（水） 18 時 30 分～20 時 40 分 会場：鯉ヶ崎公民館	13 名	〔4 班〕 松 本 尚 美 工 藤 小百合 竹 花 邦 彦 佐々木 清 明 小 島 直 也
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
台風の影響は鯉ヶ崎は少なかったが、日影町では様々あった。市からは「対応できない」と言われ、ボランティアの力を借りて乗り越えた。清水川に流木が引っかかって水があふれ、熊野町では車が通れない状況となった。清水川上流であふれて鯉ヶ崎小学校グラウンドまで水が流れた。	（意見）	
国道 45 号（田岡ガソリンスタンド付近）の道路下が崩れ、ブルーシートで法面保護をしているが、どうなるのか町内には説明がない。いつ工事がされるのか。	土砂崩れの場所が国道敷地（国土交通省管理）なのか民地なのか確認する必要がある。確認して伝える。 【班の対応】 11／19 現地確認（別紙写真のとおり） 三陸国道事務所では来年 5 月～6 月頃に復旧工事予定としていることから、発言者に後日報告した。	
今回の台風の影響は、閉伊川水門が原因したと思っている市民は少なからずいると思う。水門計画に反対した経緯もあるが、計画続行に反対する市民の声はないのか。	水門設置は、県が防潮堤整備との費用対効果を比較検討して進められた計画である。また、市も水門整備の方が早く整備できるとして推進判断し、台風被害と水門の影響についてはゼロではなく、あったと思うが、一番の原因ではないと考えている。水門工事の矢板が高くダムのように水を堰き止めたとのこととは間違いがないが、菊長 G S の水門を完全に閉めることができず、閉伊川から逆流して市内に浸水した。浸水した水が汚泥状態であったことから逆流水と判断できる。	
災害時に役立つ井戸は市内にいくつあるのか。	数はわからないが、実際の利用面では衛生面等の問題もあり難しい点がある。	

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
清水川は大雨のたびに増水、氾濫が繰り返されている。流木、ごみが引っかかるのは自分の家の前だ。清水川を横断している下水道の排水パイプが低く設置（川底から30cm）されているためそれに引っかかり、道路が冠水している。何とかしてもらわないと同じことが繰り返される。	現地を確認する。 【班の対応】 11／19 現地確認（別添写真のとおり） 現状では排水管を高くすることは困難と判断される。清水川の川底を深くするなどの抜本的対策が必要と思われる。発言者にはその旨を伝える。
台風10号の検証は経費と人をかけて調査をすべきだ。防潮堤整備では東日本大震災規模の大津波を防ぐことはできない。市民にそのことをはっきり説明すべきだ。台風10号災害についても同様だ。災害時の水位の観測や雨量の計測は万全なのか。どのような数値、降水量をもって諸々の計画を作成しているのか。しっかり検証すべきだ。 今回の台風被害、市街地への浸水の検証、根本的な治水対策がなされていない中で、新庁舎の建設工事が始められているなど、工事が先走っている。議会はブレーキをかけてほしい。	防潮堤の整備計画は既往第二位の明治の大津波規模までを防ぐもので、東日本大震災規模の大津波は防ぐことができないものだ。したがって、ハード整備だけではなく避難することを含め住民の意識を高めるなどの減災に向けた対策を図っていく必要がある。 台風10号災害については、議会としても検証を行うことにしている。議員・議会は被災者や市民の声を受け止めて、治水対策や減災を導く政策を市に提言していきたい。
現市庁舎は解体するのか。災害時の避難所に使えると思うが、解体後の跡地の利用方法はどうか。	耐震性の問題から解体することになっている。跡地利用について議会でも特別委員会を設置し検討している。

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時：平成 28 年 11 月 17 日（木） 18 時 30 分～20 時 10 分 会場：崎山公民館	23 名	〔4 班〕 松 本 尚 美 工 藤 小百合 竹 花 邦 彦 佐々木 清 明 小 島 直 也
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
台風 10 号災害について、報道や警察は行方不明者 1 名と発表しているが、市は人的被害無しとしている。この違いは何か。議員の中からも発信されていない。	行方不明が確認されていないと正式にカウントできないと聞いている。	
台風で公用車が 73 台も被災するというのは市の危機管理が甘いからではないか。被災した廃棄車両を長い間市役所数周辺に放置しているのも良くない。	災害対策本部の立ち上げは早かった。公用車が多く被災したことについて、東日本大震災の検証が十分に活かされていないという声が市民から聞かれるのも事実だ。公用車が被災したことで災害対応の初動が遅れたことは否めない。	
今回の台風被害は人災ではないのか。天災と受け止めているのか。閉伊川水門や松山の橋脚工事（三陸沿岸道路）、菊長の水門が閉められていないなど、人災とも指摘できるのではないか。	議会としても現在、検証作業を進めているところだ。	
閉伊川水門の工事がストップしているが台風の関係か。	閉伊川水門の工事は県が事業主体である。県の作業状況等を注視したい。	
台風で陥没した市道がある。消防車も通れないのではと心配している。早く復旧してほしい。	災害復旧の査定が終われば復旧工事に着手する予定と思うが、現地を確認して対応する。 【班の対応】 11／19 発言者と一緒に現地確認（別添写真のとおり） 安全確保や復旧見通し等の市の対応を確認し、後日報告した。	
防災行政無線について、古里地区、日出島、姉ヶ崎地区では防災行政無線が聞こえない。	危機管理課に連絡すれば、調査や改善の対応をする。	

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
崎山小中学校への休暇村道路の通学路整備について、地権者の了解が得られている。建設課に伝えているが何の連絡もない。早急に整備してほしい。	市（建設課）に伝える。
学区外通学等について、崎山地区は世帯数や人口は増加（1,400 戸、3,500 人）しているが、小中学生の人数は変わっていない。中学生になると他の学区に通学している生徒も見られる。崎山中学校の野球部は 3 校合同、バレー部は 2 校合同でチームをつくっている状況だ。学区外通学を規制すべきだ。	市教育委員会はクラブ活動を理由にした学区外通学を認めている。地域の思いはわかるが、保護者・児童生徒の希望を優先している。
学校と地域の関係性をもっと議論して、住みよい地域をつくっていきたいと思うが、若い保護者の関心が薄い。崎山中学校と第二中学校の統合や、宮古西中と花輪中との統合の話もあるが、市民にきちんと伝えてほしい。	（意見）
教育長と住民の話し合う場を持つよう伝えてほしい。	（意見）
光ファイバー整備等について、箱石地区では携帯電話も光ファイバーもつながっておらず不便だ。住民の 7 割以上は 65 歳以上の高齢者で買い物難民だ。2 世帯の U ターン者もいるが、バスがなく困っている。	（意見）
熊が出没したので注意するようにと行政防災無線で放送されるが、どう注意すればいいのか。駆除する考えはないのか。	ツキノワグマは保護の対象で実際に危害がないと捕獲できない。市民は家の周りに残飯などを出さないように注意してほしい。
早稲枋地区で 9 月 30 日に火事があった。水道が通っておらず井戸を使っている地区だが、防火水槽を設置してほしい。切羽詰まった話だ。	用地確保の課題があると思うが、消防署に早く設置申請をした方がよい。

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時：平成 28 年 11 月 15 日（火） 18 時 30 分～20 時 15 分 会場：長沢農村センター	28 名	〔5 班〕 長 門 孝 則 落 合 久 三 高 橋 秀 正 内 館 勝 則 伊 藤 清
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
長沢川の改修計画工事の状況はどうか。	桜堤公園付近までの堤防かさ上げが発表になっている。河川内の支障木伐採、浚渫も計画されている。	
倉の沢の砂防ダム、土砂が満杯だが対策はどうか。	土砂が満杯になれば、砂防ダムの役目は終わったことになり、別の場所に新たに作ることになる。	
長沢農村センターは避難所に指定されている、存続の方向で検討願う。（要望）	市では、公共施設再配置計画を進めており、利用頻度、耐用年数から廃止する施設の検討をしている。	
昨年設置した田鎖排水ポンプ配電盤が冠水し、ポンプが停止した。対策はどうか。	建設課でも承知している。設置位置の変更をする予定だ。	
長沢川右岸にも排水ポンプ設置計画があると聞くが、同じ構造か。	計画があるのは承知しているが、詳細についてはまだ報告がない。水門との連動操作、はけ口の方法等課題があるので注視していく。	
老木橋下流の右岸堤防が決壊して現在大型土嚢が積んである。堤防の嵩上げも含め早急に復旧してもらいたい。	台風 10 号災害は、激甚災害に指定された。12 月に災害査定の手続きと聞いている。来年早々には、復旧工事に着工できると思う。堤防嵩上げは、長沢川全体を考えるので先になると思う。	
全国で政務活動費不正問題がニュースになっている。報告会の度に宮古市の状況を説明してほしい。	（政務活動費使用状況の説明） 資料配布については検討する。議会のホームページでも公開している。	
議員定数削減が決まっている。報酬の引上げをするなら、通年議会にするべきだ。	報酬引上げは、これからの問題。委員会制になってから、議員の出席日数が増えた。今のところ通年議会への必要性は考えにくい。	
道の駅区界で Wi-Fi 通信が受信できるようになったが、周知方法はどうか。	Wi-Fi 通信については、田老の道の駅でも計画している。周知については確認する。	

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時：平成 28 年 11 月 16 日（水） 18 時 30 分～20 時 00 分 会場：小国地域振興センター	6 名	〔 5 班〕 長 門 孝 則 落 合 久 三 高 橋 秀 正 内 舘 勝 則 伊 藤 清
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
12 月 11 日に小峠トンネルが開通すると地域の空洞化が促進すると思われる。定住化対策はどうなっているのか。	地域おこし協力隊等の配置を計画している。	
小国地区イベント時に廃校となった施設を会場にしているが、使用にあたって条件がありトイレ、水道が使えない。改善できないか。	水道は、長期にわたって使用していないので事故防止のために使用させていない。トイレは、汲み取り等の維持の関係から使用を見合わせている。	
台風 10 号時、避難所のトイレが和式であり、高齢者が大変不便したが改良できないか。	改良については、難しいと考える。	
新市役所庁舎問題で、賛成・反対それぞれ考えがあると思うが、早期完成を望む。	（要望）	
台風 10 号で、いたるところの林道が被害を受けているが、復旧の見通しはどうか。	12 月に災害査定を受けることになっている。来年早々には復旧工事に着手すると思う。	
岩泉町との境に風力発電が計画されているようだが、どうなっているのか。	岩泉側 35 機、宮古側 35 機が計画されている。現在、地権者交渉をしていて 29 年着工を予定している。	
耕作放棄地が増えてきた。耕作を委託されているが、区画が小さいため作業効率が悪い。補助を導入して、耕地整理や区画拡大ができないか。	補助導入には、地主の同意が必要だ。また、負担金も必要になり難しいのではないかな。	
国道 340 号は、着々と整備が進んでいる。小国地区は通過地点になってしまうかと心配だ。道の駅は実現するのか。	現在、遠野・川井間にはトイレも休憩所も無い。地域の要望もあり、市では道の駅をはじめどのような活性化策があるか検討している。	

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時：平成 28 年 11 月 17 日（木） 18 時 30 分～20 時 15 分 会場：フラットピアみやこ	6 名	〔 5 班 〕 長 門 孝 則 落 合 久 三 高 橋 秀 正 内 舘 勝 則 伊 藤 清
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
今回の台風で西町や緑ヶ丘も浸水被害を受けたが、連絡してやっと被害調査に来た。認識が甘いのではないか。	築地、愛宕、中央通、老木、田鎖、新里、川井方面の被害が大きかったのが気づくのが遅かったようだ。市に伝える。	
新庁舎の建設費 110 億の内訳は。	復興交付金 28.5 億円 災害復旧費 2.6 億円 地域医療交付金 1.7 億円 合併特例債 57.3 億円 一般財源 12.0 億円	
鴨崎二丁目の山で宅造工事するのか道路を作っている。土砂の流出や砂ぼこりがひどいがどうなっているのか。	都市計画課に伝える。 （都市計画課職員と共に現地調査し、皆川町内会長に状況を伝えた）	
つつじが丘公園仮設住宅の撤去を早急にしてほしい。	市では仮設住宅の集約計画を進めている。 （建築住宅課長が三浦町内会長に状況を説明した）	
西町災害公営住宅の 1 階部分が地下水の影響で水がたまっている。排水ポンプが設置されているが、使い方がわからない。	市に伝える。 （建築住宅課長が現地で説明した）	
つつじが丘公園付近の水路が埋まっている。浚渫してほしい。	市に伝える。 （下水道の水路なので、上下水道部が対応すると建設課長より報告があった）	
今回の台風で市内中心部が浸水した原因はなにか。	震災による地盤沈下、大潮、高潮、閉伊川水門建設工事、降雨時間帯等の条件が重なった結果だ。	